

研究課題番号	SⅡ-8-3
研究課題名	排出インベントリと観測データ及び物質循環モデル推定に基づく GHG 収支評価
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	伊藤昭彦

## 1. 委員の指摘及び提言概要

本テーマでは地上観測、物質循環モデル、排出インベントリを用いて、迅速にボトムアップ手法として温室効果ガス収支推定を行うための有用な研究成果が得られている。その成果を環境政策への貢献となるグローバルストックテイクなどに提供したことを高く評価する。これまで地球規模での解析の不足していた CH<sub>4</sub> や N<sub>2</sub>O の放出について一定の知見を得ることができた点を高く評価する。排出インベントリの高度化にも貢献している。活発な研究成果の公表がなされており、国際共同研究も推進して、研究目標以上の成果が得られている。サブテーマ 1 と 2 との連携の成果をより明確に示してほしい。アジア太平洋域のみならず全球での本手法の普及を願っている。衛星データを用いた広域の推定や収支変動の早期検出システムの構築は今後ますます重要となるので、拡充を期待する。国際紛争、火山噴火や広範囲火災など短期間での極端な排出量/吸収量の変動に関して、どのように評価してシステムに組み込むかについては、今後の検討に期待したい。

## 2. 採点結果

評価ランク：S